




HEAD RUSH[®]

G I G B O A R D

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用下さい。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアダプタのアース線を接地してご使用下さい。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web / サポート] <http://www.headrushfx.jp>

クイックスタートガイド

はじめに

同梱物

HeadRush Gigboard 本体

USB ケーブル

電源アダプター

ソフトウェア・ダウンロードカード

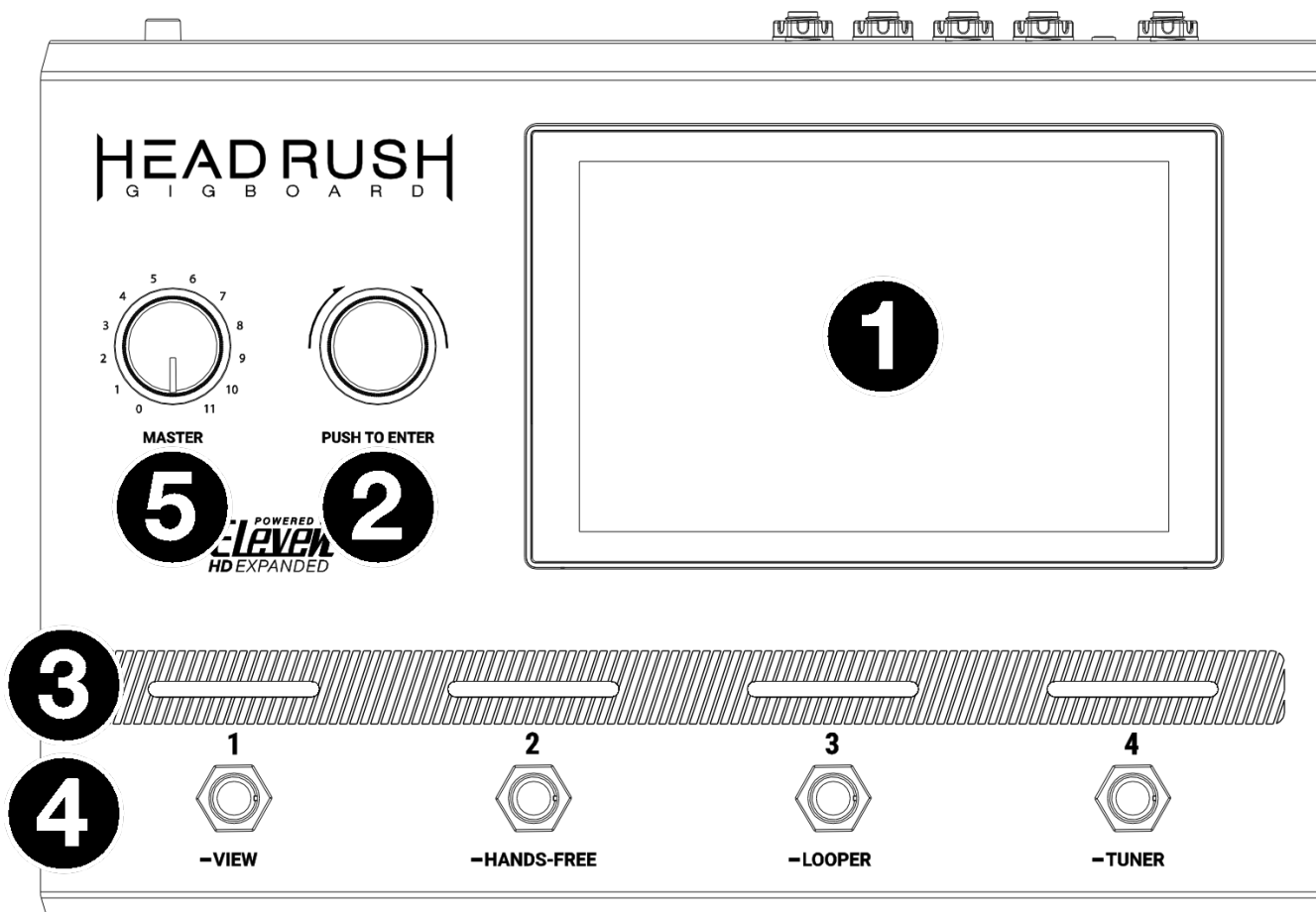
クイックスタートガイド/ 保証書

重要： <http://www.headrushfx.jp> から完全版ユーザーガイドをダウンロードしてください。

サポート

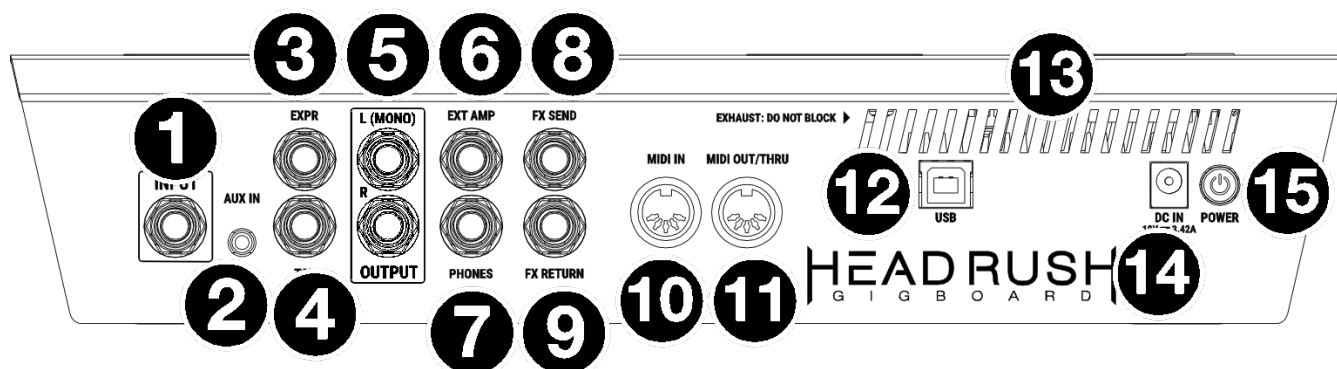
この製品に関する最新情報(マニュアル、技術仕様、動作必要要件、互換性情報)、製品登録については、<http://www.headrushfx.jp> をご覧ください。

トップパネル



1. メインディスプレイ：フルカラー・マルチタッチディスプレイは HeadRush Gigboard の仕様中の操作に関する情報を表示します。ディスプレイをタッチ(ハードウェア・コントロール)を使用してインターフェイスをコントロールすることができます。どのように動作するかについては、操作 > メインスクリーンを参照してください。
2. エンコーダー：使用可能なメニューオプションをスクロールしたり、ディスプレイ内の選択したフィールドのパラメーター値を調整することができます。エンコーダーを押すことで選択した内容を確定させることができます。
3. フットスイッチ・インジケータ：これらのライトは、各フットスイッチに割り当てられたストンプ、リグ、シーンがオン(明るく点灯)またはオフ(薄暗く点灯)のいずれであるかを示します。
4. フットスイッチ：設定したモデルやシーンを有効または無効にしたり、設定したリグをロードしたりします。
5. マスターボリューム：出力ボリュームの調整を行ないます。

リアパネル

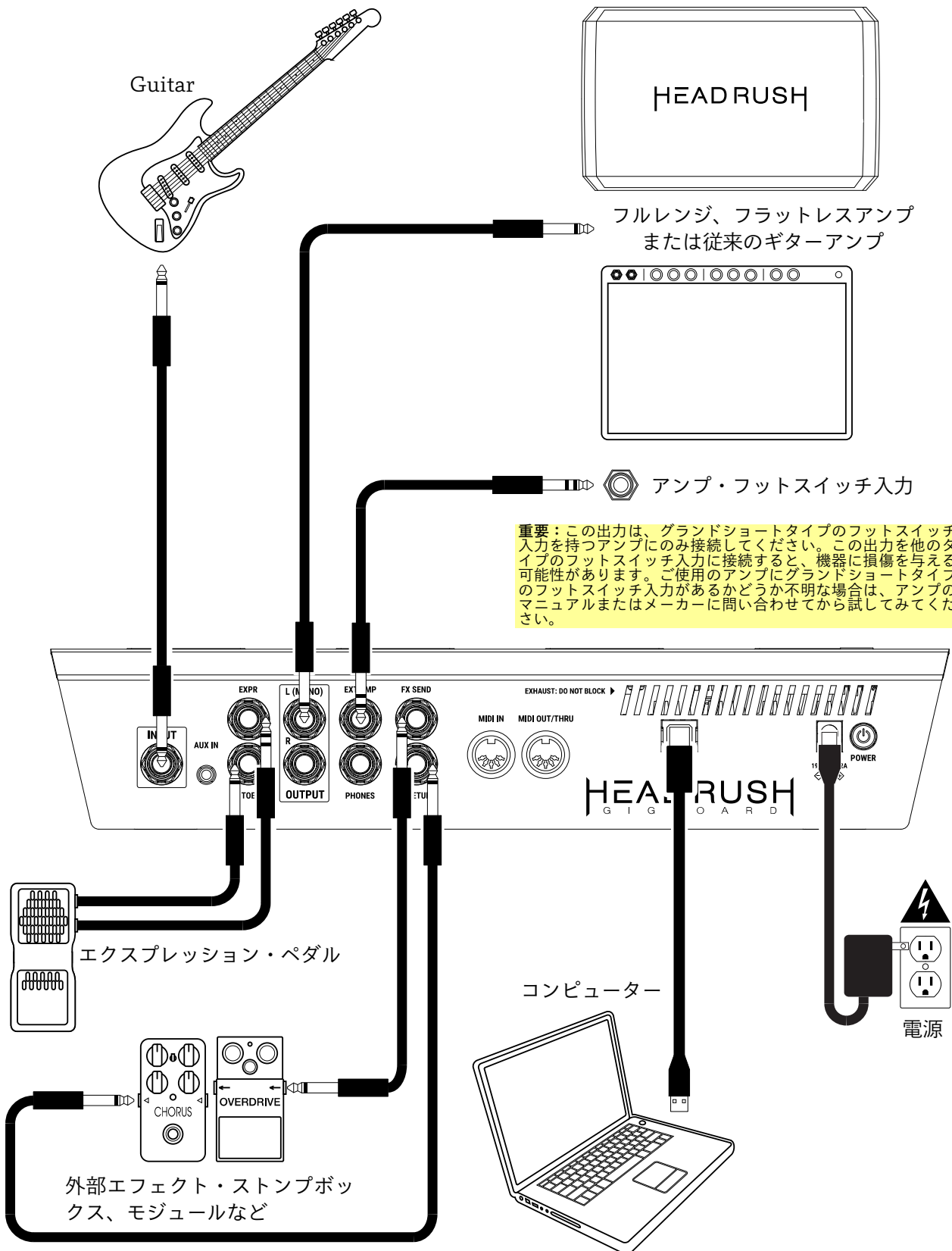


1. ギター入力 (1/4"/6.35 mm、TS)：標準のインストゥルメント・ケーブルを使用してギターを接続して下さい。
2. Aux 入力 (1/8"/3.5 mm、TRS)：オプションのオーディオソース(スマートフォン、タブレットなど)の出力を 1/8"/3.5 mm ステレオケーブルを使用して接続してください。
3. エクスプレッション・ペダル入力 (1/4 英寸/6.35 mm、TRS)：1/4 英寸(6.35 mm)TRS ケーブルを使用して、オプションのエクスプレッション・ペダルをこの入力に接続します。
4. エクスプレッション・ペダル・トウスイッチ入力 (1/4 英寸/6.35 mm、TS)：オプションのエクスプレッション・ペダルのトウスイッチ出力を、1/4 英寸(6.35 mm)TS ケーブルを使用してこの入力に接続します。
5. 出力 (1/4"/6.35 mm、TRS)：アンプやオーディオインターフェイス等の入力に接続してください。状況に応じてアンプ/ライン・セレクターを適切なポジションに設定してください。1つの出力のみを使用する場合は、L/Mono とラベリングされている出力を使用してください。
注：これらの出力は、グローバル設定メニューのアンプレベルまたはラインレベル(デフォルト)で信号を送信するように設定できます。
6. 外部アンプ・フットスイッチ出力 (1/4 英寸/6.35 mm、TRS)：この出力を外部ギターアンプのフットスイッチ入力に接続して、チャンネルをトグルするか、アンプのリバースをオン/オフします。
重要：この出力は、グラウンドショートタイプのフットスイッチ入力を持つアンプにのみ接続してください。この出力を他のタイプのフットスイッチ入力に接続すると、機器に損傷を与える可能性があります。ご使用のアンプにグラウンドショートタイプのフットスイッチ入力があるかどうか不明な場合は、アンプのマニュアルまたはメーカーに問い合わせるから試してみてください。
7. ヘッドホン出力 (1/4"/6.35 mm、TRS)：標準の 1/4"(6.35 mm)ステレオ・ヘッドホンはこの端子に接続してください。PHONE ボリュームを使用してボリュームを調整してください。
8. FX センド出力 (1/4 英寸/6.35 mm、TRS)：これらの出力を別のエフェクトモジュール、エフェクトペダル、アンプのエフェクト・ループリターンのいずれかの入力に接続します。
9. FX リターン入力 (1/4 英寸/6.35 mm、TRS)：これらの入力を別のエフェクトモジュール、エフェクトペダル、アンプのエフェクト・ループセンドのいずれかの出力に接続します。
注：グローバル設定メニューで、ラック・レベルまたはストンプ・レベル(デフォルト)で信号を受信するように FX リターン入力を設定することができます。
10. MIDI 入力 (5-pin DIN)：この端子と外部 MIDI デバイスの MIDI 出力を接続するには、標準の MIDI ケーブルを使用してください。
11. MIDI 出力/スルー (5-pin DIN)：標準 MIDI ケーブルを使用して、この出力から外部 MIDI デバイスの MIDI 入力に接続してください。この出力は、標準の MIDI 出力または MIDI スルーとして設定可能です。
12. USB ポート：標準の USB ケーブルを使用してこのポートとコンピューターを接続することができます。この接続により、HeadRush Gigboard は、コンピューターとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信できるようになります。また、この接続では、リグ、モデルプリセット、セッティングリスト、インパルスレスポンス(IR)ファイルをインポート/エクスポートすることもできるようになります。この接続はファームウェアのアップデートにも使用することができます。
13. 通気孔：使用中に通気孔に障害物がないことを確認してください。
14. 電源入力：付属の AC アダプタを使用して、この入力をコンセントに接続します。
15. 電源スイッチ：このボタンを押すと、HeadRush Gigboard の電源がオンになります。このボタンを長押しすると、HeadRush Gigboard の電源がオフになります。

HEADRUSH セットアップ

はじめに > 同梱物 に記載されていないものは別売りです。

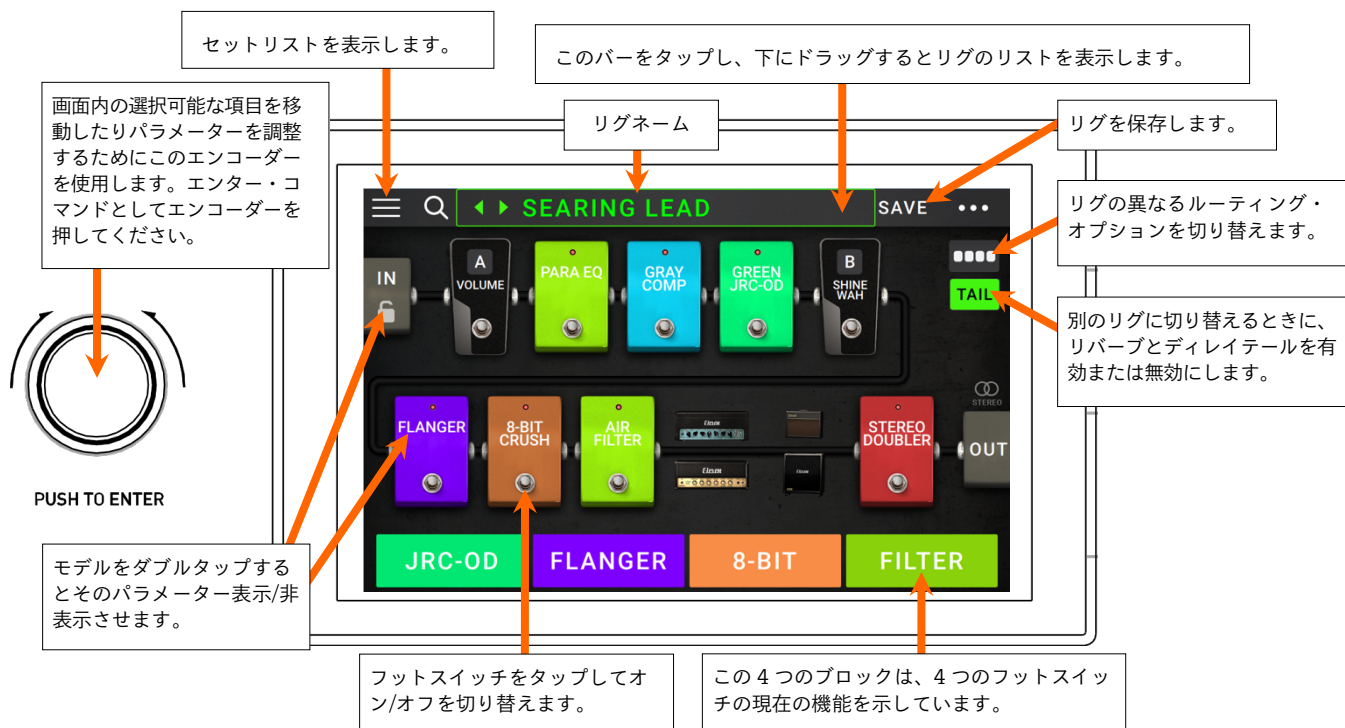
重要：グローバル設定メニューで、従来のギターアンプを使用している場合は、出力レベルをアンブレベルに設定してください。フルレンジ・フラットレスアンプ、ミキサー、PA スピーカー、オーディオインターフェイスを使用している場合は、ラインレベル(デフォルト)を設定してください。



基本操作

この章は、HeadRush Gigboard の機能について説明します。

メインスクリーン



重要：シグナルチェーンのモデルの配列は必ずしもフットスイッチ配列と同期はされません。シグナルチェーンを変更することなく自由にモデルを使用可能なフットスイッチに割り当てることができます。これは、ハードウェアのアサインを参照してください。

モデル(amp, cab, effect)を空のスロットにアサインするには、(+)をタップして表示されるリストを使用してください。詳細については、リグ>リグの作成を参照して下さい。

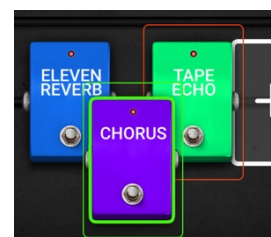
モデルのセッティング画面を表示するには、そのモデルをダブルタップしてください。そのセッティング画面にはプリセットメニュー、パラメーター、アサインされた色が表示されます。

モデルの有効/無効を切り替えるには、アサインしたフットスイッチを押すか、ディスプレイのフットスイッチをタップしてください。

別のリグ(プリセット)をロードするには、次のいずれかの操作を行ってください。：

- 画面上のリグ名をタップし、隣にある◀または▶をタップしてください。
- 画面上のリグ名をタップし、エンコーダーをまわしてください。
- Gigboard が Rig View にあるときに、プリセットに割り当てられたフットスイッチを押します。
- Gigboard がハイブリッド表示のときは、Prev Rig または Next Rig に割り当てられたフットスイッチを押します。

他のオプションを表示するには、右上隅の●●●ボタンをタップし、オプションをタップします。



シグナルチェーン内のモデルを置き換える場合には、モデルをタップして別のスロット、またはほかの2つのモデル間でドラッグしてください(その位置の後ろにあるものは、シグナルチェーンの1つ下のスロットに移動されます)。

フットスイッチモード

HeadRush Gigboardの4つのフットスイッチを使用して、モデル（アンプ、キャブ、エフェクト）、選択したシーン、リグまたはセットリストを有効にしたりバイパスすることができます。これらのフットスイッチは、常に **Stomp**、**Rig**、**Hybrid**、**Setlist** の4つのモードのいずれかにあります。

モードを変更するには：

1. フットスイッチ 1 を押し続けます。次に、4 つのフットスイッチ（Stomp、Rig、Hybrid、Setlist）に対応する4つのフットスイッチを選択します。
2. フットスイッチを押して、そのビューに入ります。

Stomp Mode

フットスイッチ 1~4 は、シグナルチェーン内のリグのモデル（アンプ、キャビネット、エフェクト）またはシーンに対応しています。フットスイッチを押して、モデルを有効または無効にします

Rig Mode

最初の 2 つのフットスイッチは、保存したリグに対応しています。フットスイッチを押してリグをロードします。

2つのリグの前のバンクを表示するには、フットスイッチ3を押します。

2つのリグの次のバンクを表示するには、フットスイッチ4を押します。

Alternate Rig Mode

Rig Mode のオルタネイトバージョンに入るには、グローバル設定の2ページ目に進み、4 Rigs / No Hold パラメータをオンにします。

フットスイッチ 1~4 は、保存したリグに対応しています。フットスイッチを押してリグをロードします。

4つのリグの前のバンクを表示するには、フットスイッチ2を長押しします。

4つのリグの次のバンクを表示するには、フットスイッチ3を長押しします。

注：Alternate Rig Mode の使用中はハンズフリーモードまたはルーパーにアクセスできません。

Hybrid Mode

最初の 2 つのフットスイッチは、モデルを有効または無効にするか、現在選択されているリグのシーンを選択するために設定することができます。

前のリグに切り替えるには、フットスイッチ3を押します。

次のリグに切り替えるには、フットスイッチ4を押します。

Setlist Mode

すべてのリグのセットリストに入るには、フットスイッチ1を押します。

現在表示されているセットリストを入力するには、フットスイッチ2を押します。

前のセットリストを表示するには、フットスイッチ3を押します。

次のセットリストを表示するには、フットスイッチ4を押します。



リグ

HeadRush Gigboard を使用しているときは、リグはプリセットです。：アサインしたモデルの組み合わせ(アンプ、キャビ、エフェクト)と、それぞれのパラメーター設定が含まれています。リグを作成、編集、保存、ロードすることができ、パフォーマンスの各パートでの使用に完璧なサウンドを完璧に呼び出すことができます。

各リグには 11 スロットが用意されており、それぞれに 1 つのモデル(アンプ、キャビ、エフェクト)をアサインする事ができます。例外は、スロットがデュアル設定(2X ボタンが有効になっているとき)でアンプやキャビを使用している場合です。

アサインされたスロットにはモデルのグラフィックが表示され、空のスロットには+マークが表示されます。

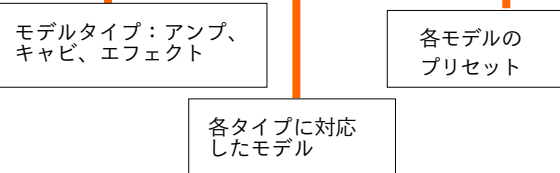
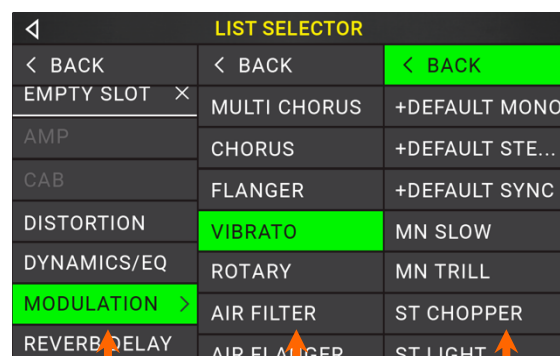
リグの作成

新しいリグを作成するには、画面右上隅の...をタップし、New Rig をタップしてください。

モデル(アンプ、キャビ、エフェクト)を空きスロットにアサイン：

1. 空きスロット(+)をタップしてください。
2. 表示されるリストのアサインしたいモデルのタイプをタップしてください。：アンプ、キャビ、エフェクト(カスタム IR、ディストーション、ダイナミクス/EQ、モジュレーション、リバース/ディレイ、FX ループ、エクスプレッション)
3. 表示されているリストの使用したいモデルをタップしてください。

隣接するスロットが空いているスロットにアンプ、またはキャビをロードすると最初に選択可能なキャビ、またはアンプがもう一方のスロットに自動的にロードされます。その後、シグナルチェーンでシグナルを分割したり、アンプやキャビのタイプを変更したり、各モデルを個別に削除したりすることができます。



シグナルチェーンの最適化

シグナルチェーンとは、ギターからのオーディオシグナルが選択したモデルを通り、HeadRush Gigboard のアウトプットで終わるパス(経路)です。タッチスクリーンを使用して、選択したモデルをお好みの順序に並べ替えることができますが、一部の設定は、他の設定よりも優れていることがあります。

HeadRush Gigboard で素晴らしいリグを作成するための一般的なモデルの配置の提案をいくつか示します。

- シグナルチェーンの最初には、ダイナミクス(コンプレッサーなど)、フィルター(ワウやピッチシフターなど)それとボリュームペダルを配置します。またはシグナルチェーンの最後にボリュームペダルを置くことで機能にわずかな変化を与えることができます。
- ゲインベースのエフェクト(オーバードライブ、ディストーション、ファズなど)は通常、次に接続します。
- イコライザー(EQ)は、オーバードライブやディストラクション、ファズのトーンを整えるために使用する場合が多いので、後ろに EQ を接続します。または、ゲインペダルの前にギターのトーンの不要部分をカットするために前に接続する場合があります。
- 通常は、次にフランジャー、フェイザー、コーラスなどのモジュレーション・エフェクトを配置します。
- ディレイ、リバースなどのタイムベースのエフェクトは一般的にシグナルチェーンの終わり近くに配置します。
- アンプとキャビネット(キャビ)は、シグナルチェーンの最後に配置するのが一般的ですが、どこにでも配置することができます。

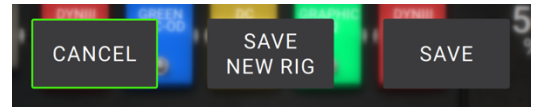
リグの保存

リグに変更を加えた場合、画面上部にアスタリスク(*)が表示され、リグに何らかの変更を加えたことを表示し、それを保存することができるようになります。

リグを保存するには、右上隅にある **Save** をタップしてください。
 現在のリグに変更を保存するには、**Save** をタップしてください。
 変更を新しいリグとして保存するには、**Save New Rig** をタップし、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、**Save** をタップしてください。

保存せずに前の画面に戻るには、**Cancel** をタップしてください。

リグに加えた変更を破棄するには、右上隅の...ボタンをタップし、**Discard Changes** をタップしてください。



セッティングの調節

リグ内のアイテムの設定を調整するには、そのアイテムをダブルタップしてセッティング画面を開きます。

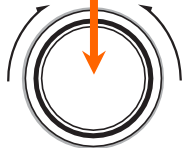
変更を保存してメイン画面に戻るには<をタップしてください。

このボタンをタップして、**Discard Changes** をタップすると、この画面を開いてから行った変更は破棄されます。

プリセットメニューをタップしてプリセットを選択

プリセットの保存をご参照ください。

画面上の選択可能な項目を移動したり、パラメーターを調整するには、エンコーダーを回してください。エンターコマンドの入力にはエンコーダーを押してください。



パラメーターの Off/On ボタンをタップすると、パラメーターの設定が変更されます。

モデル名をタップすると別のモデルをこのスロットにアサイン可能です。

パラメーターの設定を調整するには、左右にスライダをタップしてドラッグします。または、スライダをタップし、エンコーダーを使用して微調整を行います。

Delete をタップして、モデルをこのスロットから削除します。

カラーをこのモデルにアサインするためにカラーをタップしてください。そのカラーは、メイン画面、ハードウェア・アサイン画面、このモデルのフットスイッチ・インジケーターに表示されます。

Cancel をタップして 変更を破棄し、メイン画面に戻ります。

プリセットの保存

プリセットを保存するには、右上隅の **Save** をタップして下さい。
 現在のプリセットへの変更を保存するには、**Save** をタップしてください。

変更を新しいプリセットとして保存するには、**Save New Preset** をタップし、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、**Save** をタップしてください。

保存せずに前の画面に戻るには、**Cancel** をタップしてください。



ハードウェア・アサイン

ハードウェア・アサイン画面では、HeadRush Gigboard のフットスイッチ、エクスプレッション・ペダル、パラメーターノブが各リグにどのようにコントロールするかをカスタマイズすることができます。

ハードウェア・アサイン画面を開くには、メイン画面の右上隅にある●●●ボタンをタップし、**Hardware Assign** をタップしてください。

メイン画面に戻るには左上隅の◀ボタンをタップしてください。

重要：ハードウェア・アサインの設定は、すべてがリグの一部なので、変更を保存することができます。



リグに設定されたカラーを変更するには、画面の左上隅をタップしてください。このカラーは、使用可能なすべてのリグのリストを表示する時、またはセッティングリストを表示して作成する時にリグ名の隣に表示されます。HeadRush Gigboard がリグモードの場合、対応するフットスイッチ・インジケーターのカラーにもなります。

リグのタイムベースのエフェクト(ディレイ、モジュレーションなど)のテンポを設定するには、テンポの下のボタンをタップして **Current** または **Fixed** から選択してください。

- Current：**最後に使用したテンポ、またはテンポフットスイッチで設定されたテンポを使用します。
テンポを設定するには、望ましいテンポでテンポフットスイッチを 1 分当たりの拍数(BPM)で 3~8 回押し、新しいテンポを設定してください。
- Fixed：**リグで設定しているテンポを使用します。
テンポを設定するには、エンコーダーを回して希望のテンポを拍数(BPM)で設定することができます。
ハードウェア・アサイン画面でのみテンポの設定が可能です。

MIDI Prog フィールドは、リグの MIDI プログラムチェンジ・ナンバーを設定します。HeadRush Gigboard が MIDI プログラムチェンジ・メッセージを送受信できるかどうかを判断するには、グローバル設定画面のプログラムチェンジ・セッティングを使用してください。詳細については、**グローバル設定 > MIDI セッティング**を参照してください。

重要：リグがナンバーを使用している場合、そのナンバーは使用できず、別のリグにアサインすることはできません。また、リグを新しい名前では保存するとリグは保存させますが、(同じナンバーを共有することを防ぐために)プログラムチェンジ・ナンバーは保存されません。

フットスイッチ

左下の 4 つのボックスは、HeadRush Gigboard の中央の 4 つのフットスイッチを表しています。シグナルチェイン内の位置に関わらず、任意のフットスイッチに任意のスイッチベースのパラメーター(2 種類の状態のみを持つもの)を割り当てることができます。

フットスイッチにパラメーターをアサインする：

- ボックスをタップしてください。+ は空のボックスであることを意味します。
- 表示されたリストからアサインしたいモデルのパラメーターをタップしてください。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップしてください。通常、パラメーターは、オンになります(有効/無効の選択が可能)。

Unassigned × をタップしてアサインを解除することができます。

箇所のアサインを入れ替えるには、一つをタップし、ドラッグした後に放してください。



HEAD RUSH

Ext. Amp

外部アンプ出力を使用して、スイッチを割り当ててアンプのフットスイッチ入力に信号を送ることができます。この機能を使用して、クリーンチャンネルからダーティチャンネルへの変更やアンプでのリバーブのオン/オフなどを行うことができます。

リグに切り替えるときにこの機能を使用するには、ハードウェアアサインページの **Ext Amp** の下にあるボタンをタップし、**Tip**、**Ring**、**Both** のいずれかを選択します。使用する設定が不明な場合は、アンプのマニュアルまたはメーカーに問い合わせ確認してください。

この機能は、フットスイッチの機能を割り当てているときに表示される、**モデル選択**ページのフットスイッチに割り当てることもできます。



この機能は、シーン・エディタ画面でパラメーターを調整することによってシーンに割り当てることもできます。

重要: この出力は、グラウンドショートタイプのフットスイッチ入力を持つアンプにのみ接続してください。この出力を他のタイプのフットスイッチ入力に接続すると、機器に損傷を与える可能性があります。ご使用のアンプにグラウンドショートタイプのフットスイッチ入力があるかどうか不明な場合は、アンプのマニュアルまたはメーカーに問い合わせから試してみてください。

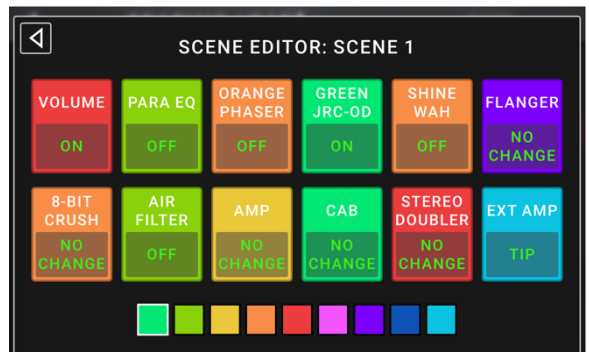
シーン

シーン機能を使用すると、各リグで複数のモデルをオンまたはオフにすることができます。シーンに割り当てられたフットスイッチを押すと、そのシーンに含まれるすべてのモデルが、設定に応じてオンまたはオフになります。これは、同じリグで複数のトーンを作成するのに最適な方法です。例えば、特定のディストリビューション・モデルがオンのときに、特定のリバーブ・モデルをオンにしたい場合があります。また、別のモデルをオンにすると、1つのディレイ・モデルをオフにすることもできます。シーンでは、1つのフットスイッチだけでこれを行うことができます。

シーンを作成、編集するには：

1. ハードウェア・アサイン画面で、**Toggle/Scene** をタップして目的のフットスイッチを選択し、使用可能なオプションを選択し、シーンを選択します。
2. そのモデルで **Edit** をタップします。シーン・エディタが表示され、リグのすべてのモデルが表示されます。
3. リグの各モデルをタップしてオプションを確認します。
 - **On**：シーンをオンにするとオンになります。
 - **Off**：シーンをオンにするとオフになります。
 - **No Change**：シーンをオンにしても影響を受けません。
4. タッチスクリーンの下部にある色をタップして、シーンの色を選択します。
5. ハードウェア・アサイン画面に戻るには、左上隅の < ボタンをタップします。

シーン(フットスイッチのインジケータに表示されています)の名前を変更するには、モデル上の Edit の下のボックスのシーン名のテキストをタップし、表示されたソフトウェアキーボードを使って新しい名前を入力し、テキストフィールド以外をタップして完了です。



エクスプレッション・ペダル

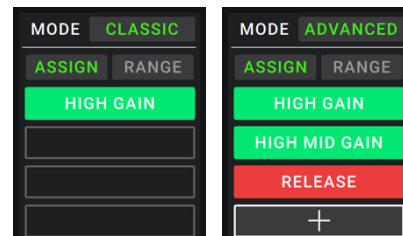
オプションのエクスプレッションペダル（別売）を接続すると、2つのパラメーター（クラシックモード）または2つのパラメーターセット（アドバンスモード）をコントロールできます。エクスプレッション・ペダルにトウスイッチがある場合は、トウスイッチを使ってエクスプレッション・ペダル A または B を切り替えることができます。

注：リグを保存すると、現在選択されているエクスプレッションペダルの状態（A または B）も保存され、リグを再びロードしたときに呼び出されます。

4つのボックスの列は、エクスプレッション・ペダルの設定を表します。

エクスプレッション・ペダルには、1つ、または複数の連続的に調整が可能なパラメーター（値の範囲を持つもの）をアサインすることができます。

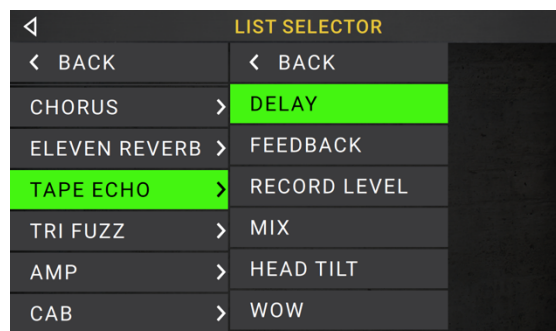
エクスプレッション・ペダルのモードを設定するには、右上隅にあるボタンをタップして **Classic** または **Advanced** を選択してください。



- Classic**：各エクスプレッション・ペダル(A/B)に1つのパラメーターをアサインすることができます。トウスイッチを使用すると他のエクスプレッション・ペダルが選択され、現在のエクスプレッション・ペダルのパラメーターが無効(バイパス)になります。例えば、エクスプレッション・ペダル A にワウペダル、エクスプレッション・ペダル B にボリュームペダルをアサインした場合、そのうち、1つだけが有効になります。ワウペダルをコントロールしているときは、ボリュームペダルはバイパスされ、その反対も同じです。
- Advanced**：各エクスプレッション・ペダル(A/B)に最大4種類のパラメーターをアサインすることができます。ペダルを動かすとアサインされたすべてのパラメーターが同時に調整されます。トウスイッチを使用すると、他のエクスプレッション・ペダルが選択され、現在のペダルのパラメーターはアクティブのまま最大値になります。

エクスプレッション・ペダルにパラメーターをアサインする：

- Assign** ボタンがオンになっていない場合はタップしてください。
- Assign** ボタンの下のボックスをタップしてください。+は空のボックスを意味します。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいモデルのパラメーターをタップしてください。
- 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップしてください。

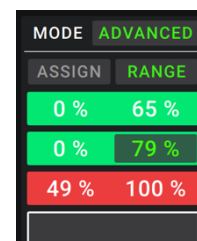


Unassigned ✕ をタップしてアサインを解除できます。

アドバンスモード時に、2種類のアサインを交換するには、一つをタップし、ドラッグした後に放して下さい。

アサインしたパラメーターの範囲を設定する：

- Range** ボタンがオンでない場合、それをタップしてください。
- Range** ボタンの下の値をタップしてください。
- エンコーダーを回して希望の値をパーセンテージで設定してください。
- エンコーダーを押すか、他の場所をタップして値を確定してください。



セットリストを使用してリグを整理することができます。セットリストは、保存して後で呼び出す事のできるリグを保存したコレクションです。これはパフォーマンスのためにリグの一部が必要な場合などに便利です。これらのリグだけのセットリストを保存可能なので、次の曲を演奏する前に使用するリグを検索する時間が必要なくなります。

セットリストを表示するには、メイン画面の左上隅にある ≡ ボタンをタップしてください。セットリスト画面が表示されます。

メイン画面に戻るには、左上隅の ◀ ボタンをタップしてください。

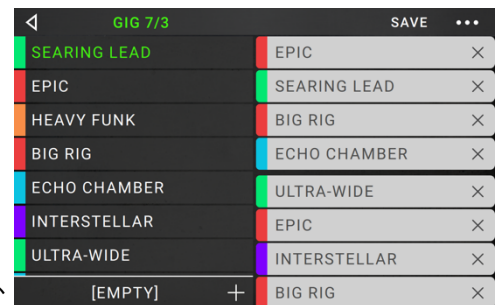
セットリストの作成：

1. 右上の **New** をタップしてください。
2. 表示された画面の左半分は、すべての利用可能なリグのリストで右半分は、セットリスト内のリグのリストです。

リグをセットリストに加えるには、それをタップしてリストの最後に加えてください。また、それをタップ&ホールドして、リスト内の目的の場所にドラッグしてください。同じリグを複数回セットリストに追加することができます。左上隅[Empty+]リグは、セットリストを簡単に並べ替えるためのプレースホルダーとして使用するためのスロットです。;セットリストのリグを移動させるときは、選択可能なリグとして使用することはできません。

セットリストを並べ替えるには、右半分オリストでリグをタップ&ホールドしてリスト内の目的の位置にドラッグしてください。

リグをセットリストから削除するには、右端の × をタップしてください。



セットリストを保存するには、右上隅にある **Save** をタップしてください。

現在のセットリストへの変更を保存するには **Save** をタップしてください。



変更した内容を新しいセットリストとして保存するには、**Save New Setlist** をタップし、表示されたキーボードを使用して新しい名称を入力し **Save** をタップしてください。

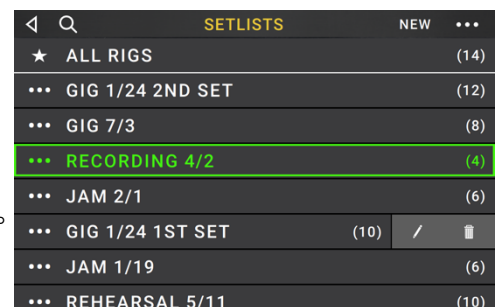
保存せずに前の画面に戻るには、**Cancel** をタップしてください。

セットリストに加えた変更を破棄するには、左上隅の ◀ ボタンをタップし、**Discard Changes** をタップしてください。

セットリストをロードする：

1. メイン画面を表示し、左上隅の ≡ ボタンをタップしてセットリスト画面を表示してください。各セットリストには、リグ数がカッコ内に表示されます(同じリグの複数インスタスを含む)。
2. 目的のセットリストをタップしてください。そのセットリストの最初のリグはすぐにロードされます。**All Rigs** をタップすると、特定のセットリストの代わりにすべてのリグを表示することができます。

セットリストをエディットするには、左側の ●●● ボタンをタップし、鉛筆アイコンをタップしてください。セットリストを作成する時に使用したものと同一画面が表示されます。この画面では、エディットや保存が可能です。



セットリストを削除するには、左側の ●●● ボタンをタップし、ごみ箱アイコンをタップしてください。削除を確定する場合は“**Yes**”をタップし、削除せずにセットリスト画面に戻るには、**Cancel** をタップしてください。

ハンズフリー・モード

ハンズフリーモードでは、フットスイッチやオプションのエクスペッション・ペダルだけでモデルの設定を調整できます。(別売り)

ハンズフリーモードに入るには、フットスイッチ 2 を 1 秒以上押し続けます。ハンズフリーモードでは、画面には 1 つのパラメーターと現在選択されている値が表示されます。

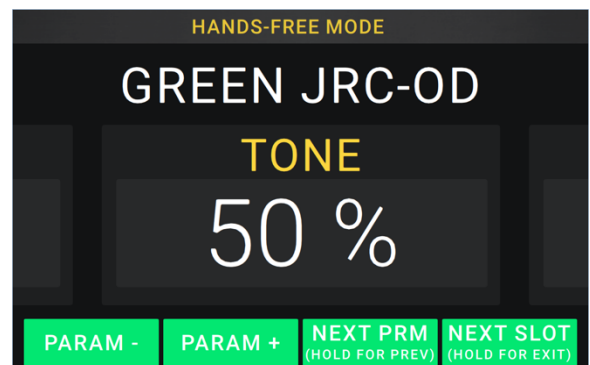
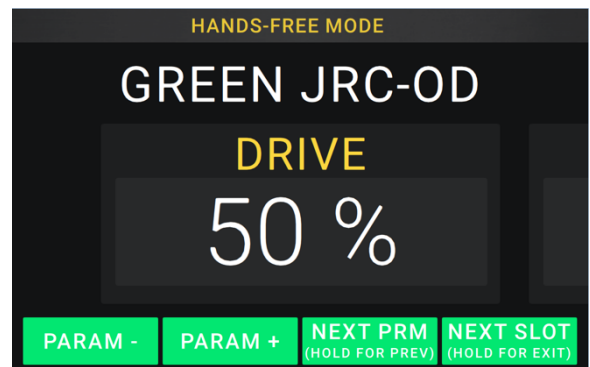
値を変更するには、フットスイッチ 1 (下) またはフットスイッチ 2 (上) を押します。外部エクスペッション・ペダルを動かすことでこれを変更することもできます。

次のパラメーターにアクセスするには、フットスイッチ 3 を押します。

前の使用可能なパラメーターにアクセスするには、フットスイッチ 3 を押し続けます。

リグの次のブロックにアクセスするには、フットスイッチ 4 を押します。

ハンズフリーモードを終了するには、フットスイッチ 4 を押し続けます。



チューナー/テンポ

Tuner/Tempo ページを使ってギターをチューニングし、タイムベースのエフェクトのテンポを設定することができます。

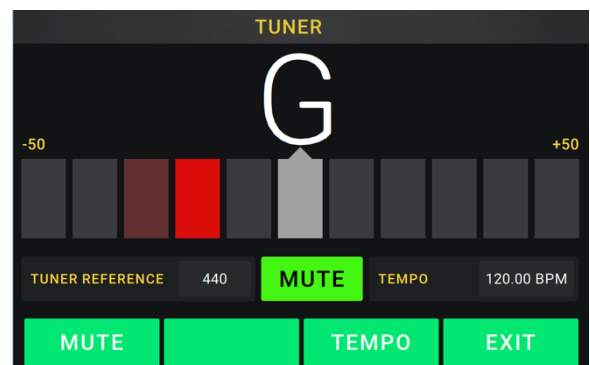
Tuner/Tempo モードに入るには、フットスイッチ 4 を 1 秒以上押し続けます。Tuner/Tempo モードでは、右の画面が表示されます。

チューナーの基準ピッチを変更するには、パラメーターをタップしてエンコーダーを回します。

チューニング中に信号のミュートを解除するには、フットスイッチ 1 を押します。

フットスイッチをタップしてテンポを入力するには、設定したいテンポでフットスイッチ 3 を 3~8 回押し、テンポを拍数 (BPM) で設定します。

このページを終了するには、フットスイッチ 4 を押します。



HeadRush Gigboard には、演奏を重ねる用途で使用可能なルーパーが内蔵されています。ルーパーの操作はディスプレイに表示されますが、フットスイッチを使ってルーパーのほとんどの操作を便利にコントロール可能です。ルーパーは、最大 50 レイヤーを重ねることができ、20 分間のオーディオをホールドすることができます。



ループの最初のレイヤーを録音するにはレコード・フットスイッチを押してください。すぐに録音が始まり、フットスイッチのインジケーターが赤く点灯します。レコーディング・フットスイッチをもう一度押すと、録音を停止し、ループ再生を開始します。フットスイッチはオーバーダブとなり、フットスイッチ・インジケーターは黄色くなります。

追加のレイヤーをループに重ねて録音するには、オーバーダブ・フットスイッチを押してください。オーバーダビングがすぐに始まり、フットスイッチ・インジケーターが赤く点灯します。オーバーダビングを停止して再生を続けるにはオーバーダブ・フットスイッチをもう一度押してください。

ループの一番上の(最後に追加した)レイヤーを消去するには、Peel フットスイッチを押してください。ループの一番上のレイヤーはすぐに消去されます。このプロセスは、ディストラクティブ(破壊編集)なので、後から再追加することはできません。

完全なループをクリアするには、クリア・フットスイッチを長押しします。これにより再生を停止すると、後で再追加することはできません。

ループの長さを半減または 2 倍にするには、長さフィールドの横にあるボタンをタップし、エンコーダーを回します。半減したループの長さを 2 倍にすることで元のループとその内容を復元できます。

ルーパーの速度を 2 倍にするには、速度フィールドの横にあるボタンをタップし、エンコーダーを回します。

ヒント：通常は演奏できなかった低音や超高音域を作成するときに使用します。

逆再生するには(リバース再生)、再生フィールドの横にあるボタンをタップし、エンコーダーを回します。

ヒント：レイヤーにフレーズを逆に録音してから、通常再生し、個性的なエフェクト効果を作成します。

ルーパーの位置を設定するには、Playback フィールドの横にあるボタンをタップし、エンコーダーを回して信号チェーンの前 (Pre) または後 (Post) に配置します。ルーパーを Pre ポジションに動かすと、同じリフを何度も繰り返し再生する必要なく、リグを編集できます

ルーパーを終了してメイン画面に戻るには、Exit フットスイッチを押します。ルーパーが再生されている場合は、再生が継続されます。

Looper フットスイッチをもう一度押すだけでルーパーに再入力可能になります。

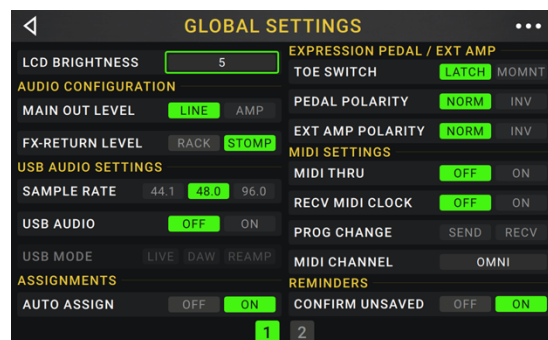
ヒント：この機能を使用してレイヤーごとに異なるエフェクト・セッティング(パラメーターの調整、モデルのオン/オフ等)を作成し異なった質感を加えることができます。ルーパーを使用しながらリグを変更し、各レイヤーに異なるリグを使用する事も可能です。

グローバル設定

グローバル設定を使用して HeadRush Gigboard の全体的なセッティングを行うことができます。

グローバル設定を表示するには画面右上にある ●●● ボタンをタップし、Global Setting をタップしてください。

グローバル設定の各ページを選択するには、画面の下端にある番号をタップします。



LCD Brightness：メイン画面の明るさを設定します。このフィールドをタップしてエンコーダーを回し 1(暗)~5(明)を調整し、エンコーダーを押してください。

オーディオ設定：

Main Out Level：メイン出力 (1/4 インチ/6.35 mm、TRS) に送信される信号レベルを設定します。Line に設定すると、出力レベルは+18 dBu になります。HeadRush Gigboard をフルレンジのフラットレスポンスアンプ、PA スピーカー、ミキサー、オーディオインターフェースのいずれかに接続すると、出力レベルは+6 dBu になります。

FX Return Level：FX リターン入力 (1/4 インチ/6.35 mm、TRS) で受信する信号レベルを設定します。Rack に設定すると、出力レベルは+18 dBu になります。HeadRush Gigboard の FX-Loop にラック・エフェクト・プロセッサーを接続している場合はこの設定をご利用ください。Stomp に設定すると、出力レベルは+6 dBu になります。FX-Loop に従来のギター・ペダル (「ストンプ・ボックス」) を接続する場合は、この設定を利用してください。

USB オーディオ設定：

注：DAW の設定方法については、<http://www.headrushfx.jp>にある完全版ユーザーガイドをご覧ください。
Windows ユーザーへの注意：Headrush Gigboard をコンピュータに接続する前に、headrushfx.com/support から必要なドライバをダウンロード/インストールしてください。

Sample Rate：USB オーディオ信号のサンプルレートを **44.1kHz**、**48.0kHz**、または **96.0kHz** から選択することができます。DAW のサンプルレートと同じサンプルレートを選択してください。また、DAW を開く前に設定してください。

USB Audio：HeadRush Gigboard が USB 接続経由で USB オーディオを送信するかどうかを設定します。**On** をタップすると、選択したサンプルレートで USB オーディオを送信します。**Off** をタップすると USB オーディオ信号は無効になります(サンプルレートを変更するには、まず USB オーディオをオフにし、正しいサンプルレートを選択した後に **USB オーディオ** をオンに戻してから DAW を再起動させてください)。

USB Mode：HeadRush Gigboard が USB 接続からどのようにオーディオ信号を送信するか、また出力がどのように機能するかを設定します。：

- **Live**：オーディオ信号は、HeadRush Gigboard の出力と同じものがコンピュータに送られます。
- **DAW**：オーディオ信号はコンピュータのみに送信されます。HeadRush Gigboard の出力は、モニター中のレイテンシーを防ぐために無効になります。
- **Reamp**：お使いのコンピュータから HeadRush Gigboard にオーディオ信号を送り、現在のリグを使用して処理をした後にコンピュータに戻します。HeadRush Gigboard の出力は、モニター中のレイテンシーを防ぐために無効になります。

アサイン：

Auto Assign：モデルがどのようにスイッチにアサインされるかを設定します。モデルをロードする時に使用可能なスイッチに自動的にモデルをアサインするには **On** をタップしてください。モデルをスイッチにアサインせずにロードする場合は、**Off** をタップしてください。その場合、ハードウェア・アサイン画面で手動でアサインする必要があります。

エクスプレッション・ペダル / Ext Amp：

Toe Switch：このパラメータを **Latch** にするとエクスプレッションペダルのトウスイッチはラッチになります。**Moment** を選択するとモーメンタリーになります。

Pedal Polarity：エクスプレッションペダルが間違った方向に動いているように思われる場合は、このパラメータでペダルの極性を反転できます。**Norm** (ノーマル) と **Inv** (インバート) が選択できます。

Ext Amp Polarity：意図したメッセージと反対のメッセージを外部アンプが受け取っているように思われる場合は、このパラメータで **External Amp Footswitch Output** に送られるメッセージを反転させることができます。**Norm** (ノーマル) と **Inv** (インバート) のいずれかを選択します。

MIDI セッティング：HeadRush Gigboard が外部デバイスとの間で MIDI 情報を送受信する方法を設定します。この設定は、HeadRush Gigboard の MIDI 入出力にのみ影響します。

MIDI Thru：**On** をタップすると、**MIDI 出力** が MIDI スルーとして機能します。；HeadRush Gigboard の MIDI 入力に送られた MIDI 情報を、直接 MIDI 出力(スルー)に送ります。HeadRush Gigboard の MIDI 出力を正しく機能させたい場合は **Off** をタップしてください。HeadRush Gigboard は MIDI 出力から、独自の MIDI 情報のみを送信します。

Recv MIDI Clock：**On** をタップすると、HeadRush Gigboard が MIDI クロック情報を受信するようになります。“Off”をタップすると、HeadRush Gigboard の内蔵 MIDI クロックを使用します。これは外部に送信できません。

Prog Change：左上(Rig▲)または左下(Rig▼)スイッチを押すと HeadRush Gigboard の MIDI プログラムチェンジ・メッセージの送信の有効/無効を切替えます。**Recv** をタップすると、HeadRush Gigboard が外部 MIDI 機器からの MIDI プログラムチェンジ・メッセージを受信するようになります。

MIDI Channel：HeadRush Gigboard が MIDI メッセージを送受信する MIDI チャンネルを設定します。このフィールドをタップしてエンコーダーを回してチャンネル **1~16**、または **Omni**(すべて)を選択し、エンコーダーを押してください。

リマインダー：

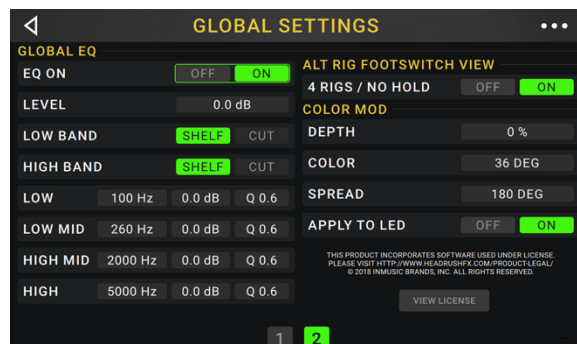
未保存の確認：この設定は、未保存の変更がある間にリグを変更すると、確認メッセージを表示すべきどうかを設定します。メッセージを有効にするには **On** を、無効にするには **Off** をタップするか、**Do not show this dialog again** (このダイアログを以後表示しない) をタップします。



グローバル EQ：

ページ 2 のこれらの設定は、出力にイコライゼーションが適用されるかどうかを設定します。このイコライザーは 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。

ヒント：これらの設定は、会場が、元々プリセットを作成した場所とは異なる音響特性を持っている場合（例：会場がブーミー、防音対策が施されたりハスタの音響がハイ寄りなど）に有効です。このページでは、すべてのプリセットに永久保存することなく、追加イコライゼーションをすばやく適用する方法を説明します。



EQ On：出力のイコライゼーションが有効(On)または無効(Off)かどうかを設定します。

Level：出力のオーディオ信号レベルをブーストまたはカットするかどうかを設定します。この値は、マスターノブで設定したレベルに適用されます。

Low Band&High Band：最低周波数帯域（ローバンド）と最高周波数帯域（ハイバンド）に適用されるイコライゼーションのタイプ（シェルフまたはカット）を設定します。

Low、Low Mid、High&High Mid：これらの周波数帯のそれぞれの 3 つの設定によって、等化の形状が決まります。

第 1 設定 (Hz) は、低周波数帯域、低中周波数帯域、高周波数帯域、高中周波数帯域の中心周波数を設定します。

第 2 設定 (dB) は、イコライザが対応する周波数帯域で信号をどれだけブーストまたはカットするかを設定します。

第 3 設定 (Q) は、周波数帯域の幅を設定します。設定値が高いほど、中心周波数付近での帯域幅が広がります（最初の設定）。この設定は、低域または高域がシェルフまたはカットに設定されている場合に適用されます。

Alt Rig Footswitch ビュー：

4 Rigs / No Hold：この設定をオンにすると Rig Mode から Alternate Rig Mode へ切り替わります。詳しくはフットスイッチモードをご参照ください。

Color Mod：

Gigboard のディスプレイで特定の色を区別できない場合や、配色をさらにカスタマイズしたい場合”color mod”パラメータを用いてカラーの設定を調整できます。調整中、その調整内容がリアルタイムで表示されます。以下の設定がデフォルトの配色です。

Depth: 0%

Color: 36 DEG

Spread: 180 DEG

注：Color Mod 機能は Screen Lock 機能が有効になっているときには使用できません。

技術仕様

フットスイッチ	LED ライト付きフットスイッチ x 4
ノブ	300° マスター・ボリューム・ノブ x1 360° ナビゲーション/データエンコーダー x1
ディスプレイ	タッチインターフェイス、フルカラーLED バックライト付き ディスプレイ 176 mm (対角線) 150 x 93 mm (W x H)
コネクタ	1/4 インチ(6.35mm)TS 入力(ギター)x1 1/4 インチ(6.35mm)TRS 入力(エクスペッション・ペダル)x1 1/4 インチ(6.35mm)TS 入力(エクスペッション・ペダル・トウスイッチ)x1 1/8 インチ(3.5mm)ステレオ入力(補助装置)x1 1/4 インチ(6.35mm)TRS 出力(外部アンプスイッチ)x1 1/4 インチ(6.35mm)TRS 入力(送信)x1 1/4 インチ(6.35mm)TRS 出力(リターン)x1 5 ピン MIDI 入力 x1 5 ピン MIDI 出力/スルーx1 USB タイプ B ポート x1 DC 電源入力 x1
電源	電源アダプター 19 VDC、3.42 A、センタープラス
サイズ(H x W x D)	32.92 x 22.56 x 6.71 cm
重量	3.24 kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

HeadRush は、米国および他の国々で登録された inMusic Brands、Inc.の商標です。

Avid および Eleven は、米国およびその他の国における Avid Technology、Inc.の商標または登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のものです。

無料修理規定

- 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品を取替える場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にご愛用者名、お買上げ日、販売店名の記入がない、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、inMusic Japan でのみ行われるものとします。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご相談ください。

保証書	
製品名：	
製品番号：	
ご購入日：	
保証期間： ご購入日から一年間	
お客様	販売店
お名前：	販売店名：
ご住所：	ご住所：
お電話：	お電話：

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート
〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23 オーク南麻布ビルディング6F
お問い合わせ：<http://www.headrushfx.jp>

- 本書に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。